

学生用ユーザースガイド抜粋版.pdf

ファイル | C:/Users/kenji/Desktop/学生用ユーザースガイ...

	ド・スマートカードは、職員証、学生証、および利用証を指します (p.10・15)。IC カード認証に用いられます。
IC カード認証	IC カードとパスワードの組み合わせを利用した認証方式です。スマホ・電話認証と同等の高い認証強度を持ちます。 教育用端末ならびに事務用シンクライアント端末 へのログインに必須です。
名工大 ID	初回入学時の職員/学生番号をもとに生成される、3 桁のアルファベットで始まり 5 桁の数字で終わる 8 桁の英数字列です (例: abc12345/p.15)。名工大 ID 認証ならびにスマホ・電話認証に用いられます。進学・転学科等があっても変更されることはありません。また、 基盤 ID と呼ばれることもあります。
パスワード	「IC カード」または「名工大 ID」とセットでキーボード入力することにより、 銀行印程度の効力 を発揮する暗証コードです。 絶対に他人に教えてはいけません (p.16)。IC カード認証/スマホ・電話認証/名工大 ID 認証のパスワードとして用いられます。
名工大 ID 認証	名工大 ID とパスワードの組み合わせを利用した認証方式です。標準的な認証強度を持ちます。
スマホ・電話認証	一般的には多要素認証と呼ばれるもので、名工大 ID 認証+スマホアプリ・電話のいずれかの組み合わせを利用した認証方式です。2021 年度入学の学生 (大学院含む) から、スマホ・携帯必須とし、大学内の多要素認証の核としてより強固なセキュリティを担保しています。利用するには事前に設定が必要で、 VPN 接続サービス および Office 365 サービス へのログインに必須です。

キャンパス情報ネットワーク (以下、MAINS と呼ぶ) は、大学の学内ネットワーク (LAN) を指します。情報基盤システム (以下、IBS と呼ぶ) は、大学の学内ネットワーク (LAN) を指します。

名工大 ID とは、いわゆるユーザ ID、ユーザ名のことで、名工大の情報基盤システムのユーザ名のことを名工大 ID と呼んでいます。ユーザ名とともにパスワードを入力する機会が多々あります。近年はパスワードに加えてワンタイムパスワードや SMS、音声通話を併用した多要素認証によりセキュリティの向上を図っています。本学では IC カードやスマートフォンアプリによる認証を行っておりこれを「IC カード認証」、「スマホ電話認証」→改称されました:「スマホ認証」と呼んでいます。(2 章、特に 2.1~2.5 節も参考にしてください。)

00:00
2022/03/00

学生用ユーザースガイド抜粋版.pdf

ファイル | C:/Users/kenji/Desktop/学生用ユーザースガイ...

1.2. 名工大キャンパス情報ネットワーク (MAINS) 利用の心得

情報基盤システムやキャンパス情報ネットワーク (MAINS) の利用にあたっては、次の心得 (2020 年 9 月 1 日改訂) を遵守し、他者に迷惑をかけないように努めてください。

(定義)
名工大キャンパス情報ネットワーク (以下、MAINS と呼ぶ) は、大学の学内ネットワークやこれを構成するための VPN 装置を含むネットワーク機器またはサーバー機器、ネットワーク上で提供されるサービス、これらに接続し利用する全ての端末を指す。

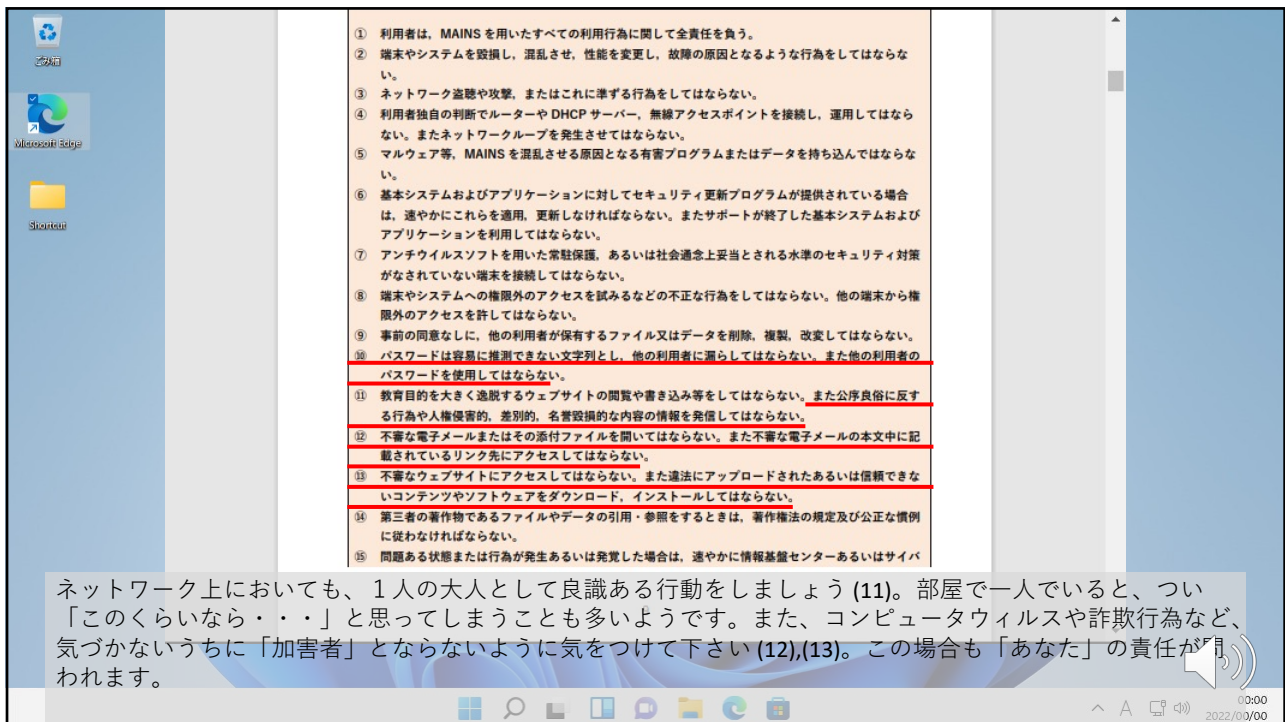
- ① 利用者は、MAINS を用いたすべての利用行為に関して全責任を負う。
- ② 端末やシステムを毀損し、混乱させ、性能を変更し、故障の原因となるような行為をしてはならない。
- ③ ネットワーク盗聴や攻撃、またはこれに準ずる行為をしてはならない。
- ④ 利用者独自の判断でルーターや DHCP サーバー、無線アクセスポイントを接続し、運用してはならない。またネットワークループを発生させてはならない。
- ⑤ マルウェア等、MAINS を混乱させる原因となる有害プログラムまたはデータを持ち込んではならない。
- ⑥ 基本システムおよびアプリケーションに対してセキュリティ更新プログラムが提供されている場合は、速やかにこれらを通用、更新しなければならない。またサポートが終了した基本システムおよびアプリケーションを利用してはならない。
- ⑦ アンチウイルスソフトを用いた常駐保護、あるいは社会通念上妥当とされる水準のセキュリティ対策がなされていない端末を接続してはならない。
- ⑧ 端末やシステムへの権限外のアクセスを試みるなどの不正な行為をしてはならない。他の端末から権限外のアクセスを試みる行為も同様である。

⑨ 教育目的を大きく逸脱するウェブサイトの閲覧や書き込み等をしてはならない。また公序良俗に反する行為や人権侵害的、差別的、名誉毀損的な内容の情報を発信してはならない。

⑩ 不審な電子メールまたはその添付ファイルを開いてはならない。また不審な電子メールの本文中に記

復習時には「利用の心得」のページを開いてください。先ほど説明したパスワードを含むアカウント情報や、認証に利用する IC カードなどは、各自の責任において管理してください (10)。友達が忘れたからといって安易に貸借りできるものではありません。漏洩の上、不正利用された場合には、「あなた」の責任が問われます。

00:00
2022/03/00



① 利用者は、MAINS を用いたすべての利用行為に関して全責任を負う。

② 端末やシステムを毀損し、混乱させ、性能を変更し、故障の原因となるような行為をしてはならない。

③ ネットワーク盗聴や攻撃、またはこれに準ずる行為をしてはならない。

④ 利用者独自の判断でルーターや DHCP サーバー、無線アクセスポイントを接続し、運用してはならない。またネットワークループを発生させてはならない。

⑤ マルウェア等、MAINS を混乱させる原因となる有害プログラムまたはデータを持ち込んではならない。

⑥ 基本システムおよびアプリケーションに対してセキュリティ更新プログラムが提供されている場合は、速やかにこれらを通関、更新しなければならない。またサポートが終了した基本システムおよびアプリケーションを利用してはならない。

⑦ アンチウイルスソフトを用いた常駐保護、あるいは社会通念上妥当とされる水準のセキュリティ対策がなされていない端末を接続してはならない。

⑧ 端末やシステムへの権限外のアクセスを試みるなどの不正な行為をしてはならない。他の端末から権限外のアクセスを許してはならない。

⑨ 事前の同意なしに、他の利用者が保有するファイル又はデータを削除、複製、改変してはならない。

⑩ パスワードは容易に推測できない文字列とし、他の利用者に漏らしてはならない。また他の利用者のパスワードを使用してはならない。

⑪ 教育目的を大きく逸脱するウェブサイトの閲覧や書き込み等をしてはならない。また公序良俗に反する行為や人権侵害的、差別的、名誉毀損的な内容の情報を発信してはならない。

⑫ 不審な電子メールまたはその添付ファイルを開いてはならない。また不審な電子メールの本文中に記載されているリンク先にアクセスしてはならない。

⑬ 不審なウェブサイトにアクセスしてはならない。また違法にアップロードされたあるいは信頼できないコンテンツやソフトウェアをダウンロード、インストールしてはならない。

⑭ 第三者の著作物であるファイルやデータの引用・参照をするときは、著作権法の規定及び公正な慣例に従わなければならない。

⑮ 問題ある状態または行為が発生あるいは発覚した場合は、速やかに情報基盤センターあるいはサイバ

ネットワーク上においても、1 人の大人として良識ある行動をしましょう (11)。部屋で一人だと、つい「このくらいなら・・・」と思ってしまうことも多いようです。また、コンピュータウイルスや詐欺行為など、気づかないうちに「加害者」とならないように気をつけて下さい (12),(13)。この場合も「あなた」の責任が問われます。



3. 教育用計算機システム「Edsys」

続いて 3 章です。

3.1. 教育用計算機システム (Edsys) について

本学発行の IC カード（学生証または職員証）を持つ学生および教職員は、以下の場所に設置されている約 530 台の教育用計算機システムの端末（教育用端末）を利用する事が出来ます。

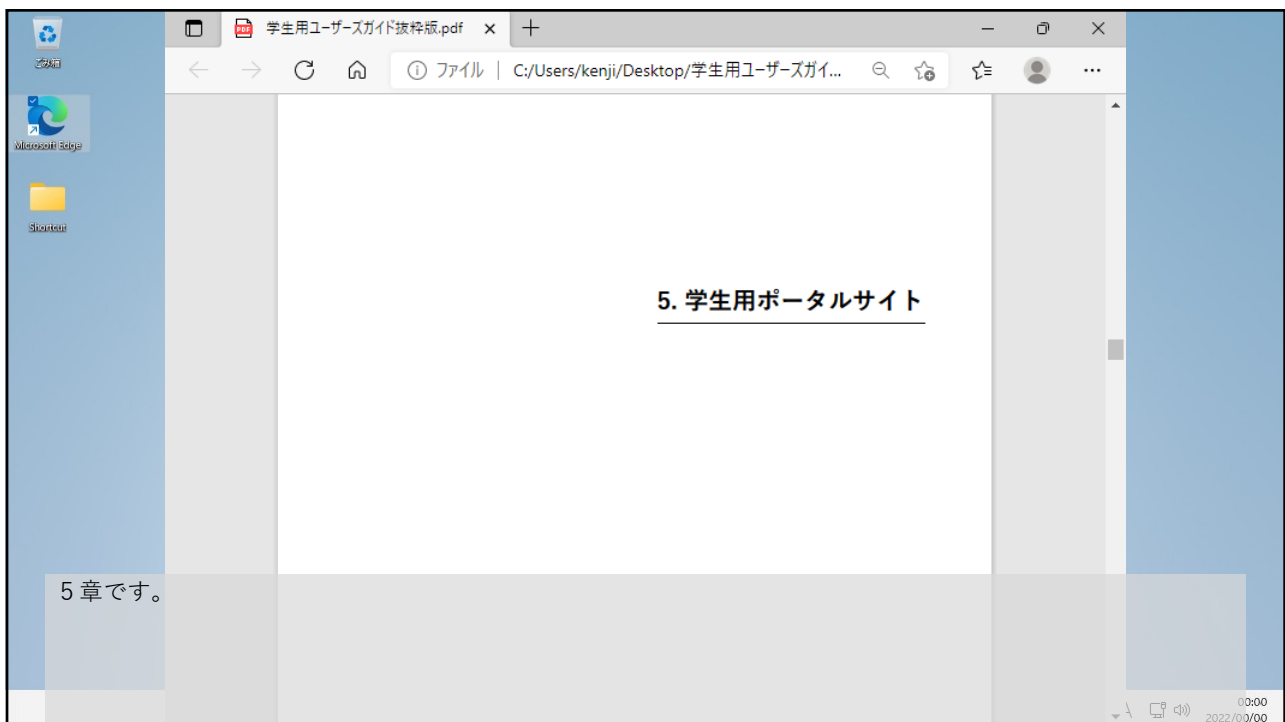
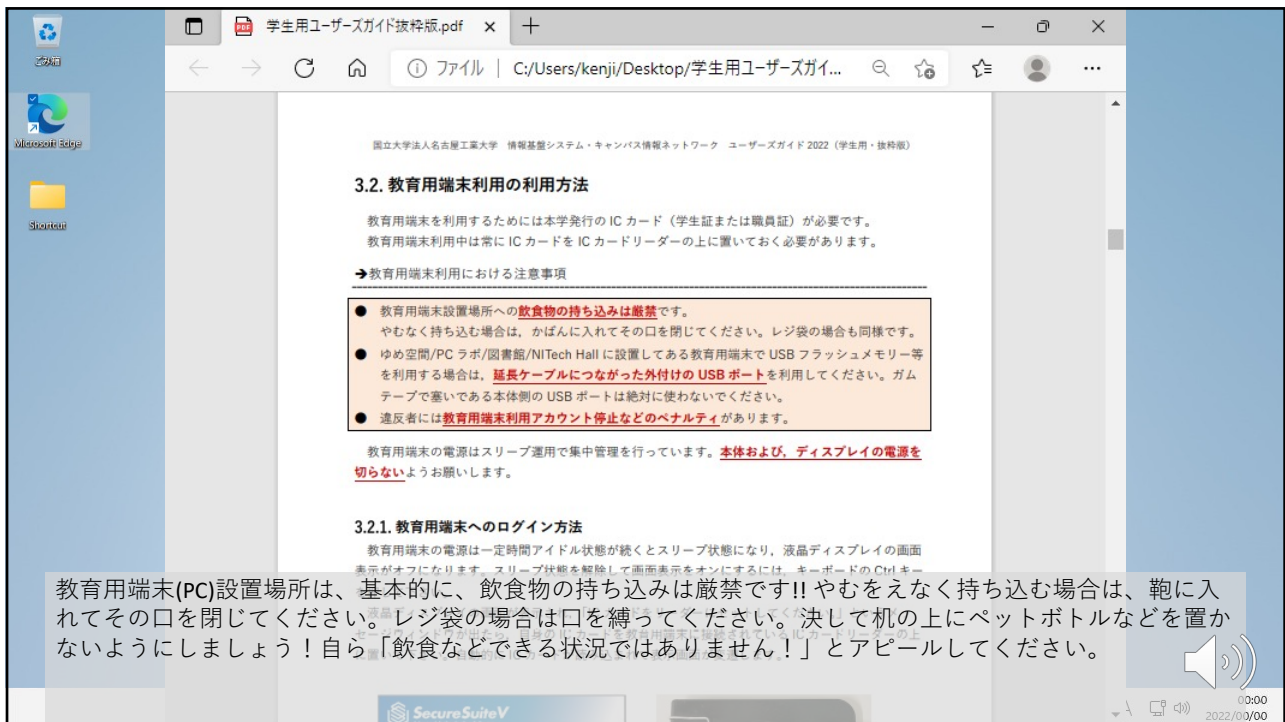
→教育用端末の設置場所と設置台数

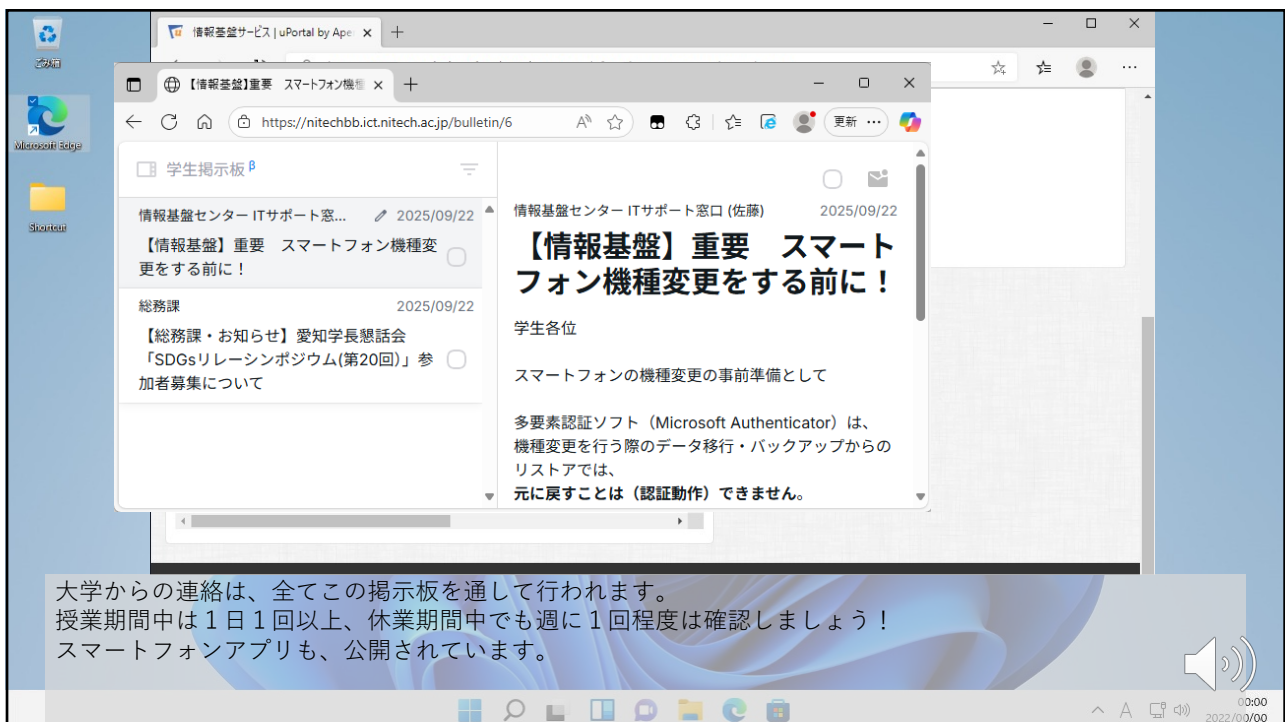
建物名称	階	設置場所名称	教育用端末	プリンター	利用時間
20 号館	1 階	PC ラボ	20	1	授業実施期間（平日） 08:00~21:30 ^{※1} ●入室に要 IC カード
	2 階	2029 講義室 ^{※2}	205	-	授業実施期間（平日） 08:00~17:00 ^{※1} ※3
11 号館	2 階	1129 講義室	66	-	授業実施期間（平日） 08:00~21:30 ^{※1} ※2
21 号館	3 階	2139 講義室	66	-	●入室に要 IC カード
24 号館	3 階	2439 講義室	61	-	
19 号館	2 階	ゆめ空間	10	1	
		Global Network Room	20	-	
NITech Hall	2 階	Li:NCs PC エリア	11	1	Li:NCs 開館時間（図書館ホームページ参照）
	1 階	情報検索コーナー	8	-	
		PC/AV コーナー	13	-	

※1 夏季／冬季等の長期学期休業期間中の自由利用はできません。
 ※2 講義中は、受講者以外は利用できません。
 ※3 二部の講義のため、利用時間が延長される場合があります。その際の自由利用はできません。

教育用計算機システムのうち、実際に皆さんが手に触れて利用する「パソコン」は、学内各所に分散設置されています。

なお、20号館の2029講義室やPC-Labを利用するときは、**20号館北側入口（21号館側）**より出入りしてください。
 また2029講義室利用時の男性用お手洗いは、
 1 階PC-Lab向かいを利用してください。
 （女性用は2 階南側にあります。）






国立大学法人名古屋工業大学 情報基盤システム・キャンパス情報ネットワーク ユーザーズガイド 2022 (学生用・抜粋版)

5.6. 統一データベース

5.6.1. 統一データベースとは

統一データベースとは「学内の各種情報を一括管理するデータベース」で、本学の学生と教職員が利用します。これにより、各種申請や情報共有の効率的な運用が実現しています。教育用計算機システムのアカウント管理やICカードの発行などにも利用されています。



統一データベース

名工 本郷さん

メニュー

- 登録情報の管理・編集
 - 個人基本情報の表示・編集
 - 課外活動の表示・編集
 - 差額の表示・編集
 - 表彰の表示・編集
 - 資格試験の表示・編集
 - 進路情報の表示・編集
 - MAZINS WEB認証設定
 - 名古屋ICカード再設定
 - クラス登録・ユーザー・アドバイザー
 - 発行記録

名工 本郷さん

00:00
2022/03/00

統一データベースとは「学内の各種情報を一括管理するデータベース」です。利用者自身の情報を閲覧、更新できます。利用者の情報には入力必須の項目と任意の項目があります。入力必須の項目が未更新の場合には学生ポータルなどへのアクセスが制限される場合がありますので注意してください。

5.6.2. 利用者情報の自己管理

6. 学生用電子メール・予定表

6 章です。

00:00
2022/03/00

学生用電子メールサービスとは

学生用電子メールサービス（以下、学生メールと呼びます）とは本学の学生が公式に利用するメールサービスで、学生個々には学生用電子メールアドレス（以下、学生メールアドレスと呼びます）が付与されています。教職員への問い合わせや就職活動、課外活動等で企業の方とやり取りする際など、**本学の学生として**何かアクションする場合は本サービスを使うのが良いでしょう。また、この学生メールアドレスには**教員や事務より重要な連絡が届きます**。少なくとも**一日一回は受信確認**してください。

学生メールアドレスとは

メールアドレスの形式は下表をご参照ください。また、学生用ポータルサイト>リンク集>統一DB>個人基本情報の表示・編集で自身に付与された学生メールアドレスを確認できます。

メールアドレス形式	説明
t.meikou.123@stn.nitech.ac.jp (t: 名前の頭文字/meikou: 姓/123: 乱数)	Outlook on the web における既定（送信元）のメールアドレスで、@の前は英字名の頭文字 1 字 + 英字姓 + 数字 3 桁で構成されています。これを任意の値に変更することはできません。@の後は「stn」ですので、間違えないようにしてください。 メールアドレスやメールボックスは進学しても引き継がれます。

大学では皆さんに 1 人 1 つずつメールアドレスを準備しています。
大学からの連絡は基本的に先述の学生掲示板を通して行われますが、電子的な返答を期待される場合などには、この学生メールを通じて連絡される場合もあります。掲示板に準じて、常に確認できるようにしてください。

◆参考：他の電子メールアドレスには何があるの？

他にも学生番号@stn.nitech.ac.jp というメールアドレスがあり、このメールアドレスにメール送信しても学生メールで受信することが可能です。主に本学の各種システムからメール送信する

7. オンライン授業サポートシステム「Moodle」

最後に、7 章です。

学生用ユーザーガイド抜粋版.pdf x 十

ファイル | C:/Users/kenji/Desktop/学生用ユーザーガイ...

国立大学法人名古屋工業大学 情報基盤システム・キャンパス情報ネットワーク ユーザーズガイド 2022 (学生用・抜粋版)

7.1. オンライン授業サポートシステム「Moodle」とは

Moodle は、ウェブ技術によるオンラインの授業のサポートシステムです。Moodle において、授業のコンテンツ全体はコースと呼ばれ、コースにおいて教員は授業の資料を作成・掲示、オンラインでの課題の出題と解答提出の管理、出欠管理、オンラインでの小テストの実施、成績一覧の閲覧等を行うことができます。学生はコースに登録を行うことで、そのコースの資料を閲覧する、課題を提出する、小テストを解答するといったことができるようになります。また、授業時間外での学生の予習復習をサポートするさまざまな機能があります。

7.2. 利用環境

学内の教育用端末はもちろん、Microsoft Edge や Google Chrome といったウェブブラウザの最新版が使える PC であれば利用可能です。学生ポータル経由でアクセスする場合は必然的に学内からの接続に限定されますが、直接アクセスする場合は **学内外のいずれからも利用可能**です (VPN は必要ありません)。

7.3. アクセス方法

→ 学生ポータルを経由して利用する (学内のみ)

アクセス手順
● ポータル>リンク集>Moodle>Moodle・NITechOTMへログイン

Moodleとは、オンライン授業サポートシステムです。資料を電子的に配ったり、宿題を電子的に回収したり、テストを電子的に実施したり、と様々な事柄がコンピュータを通して行われています。なおMoodleでの登録は学務での受講登録と独立しています。イン>Moodle・NITechOTMへログイン

「登録キー」は各担当の先生が授業時にアナウンスします。

00:00
2022/03/00

2020_学生用_抜.. (クリック起動 (Ctrl+J))

ファイル(F) ホーム(H) 表示(V) コメント(C) 保護(P) フォーム(F) 整理(O) 変換(C) 共有(S) 校閲(R) ブックマーク ヘルプ(H)

2020_学生用_抜粋版_0221 x 2020_学生用_別冊クリックガイド_0221 x 十

8. 学生出欠管理システム

おまけ、8章 (抜粋版にはありません) の出席管理システムについて紹介します。

62/82 100.3%

00:00
2022/03/00

